

定年の段階的引き上げについて

(1) 定年の段階的引き上げ

現行 60 歳の定年を段階的に引き上げて 65 歳とする。医師職は 70 歳（現行 65 歳）。

(2) 管理監督職勤務上限年齢制（役職定年）の導入

- ・管理職手当が支給されている管理職の職員は、管理職以外の職となる。
- ・役職定年により公務の運営に著しい支障が生ずる場合に限り、引き続き管理職として勤務させることができる特例を設ける。（特例任用）

(3) 60 歳以後の職員の給与

職員の給料月額、職員が 60 歳に達した日後の最初の 4 月 1 日（特定日）以後、その者に適用される給料表の職務の級及び号給に応じた額に 7 割を乗じて得た額とする。（役職定年により降任、降給を伴う異動をした職員の俸給月額は、異動前の俸給月額の 7 割水準）

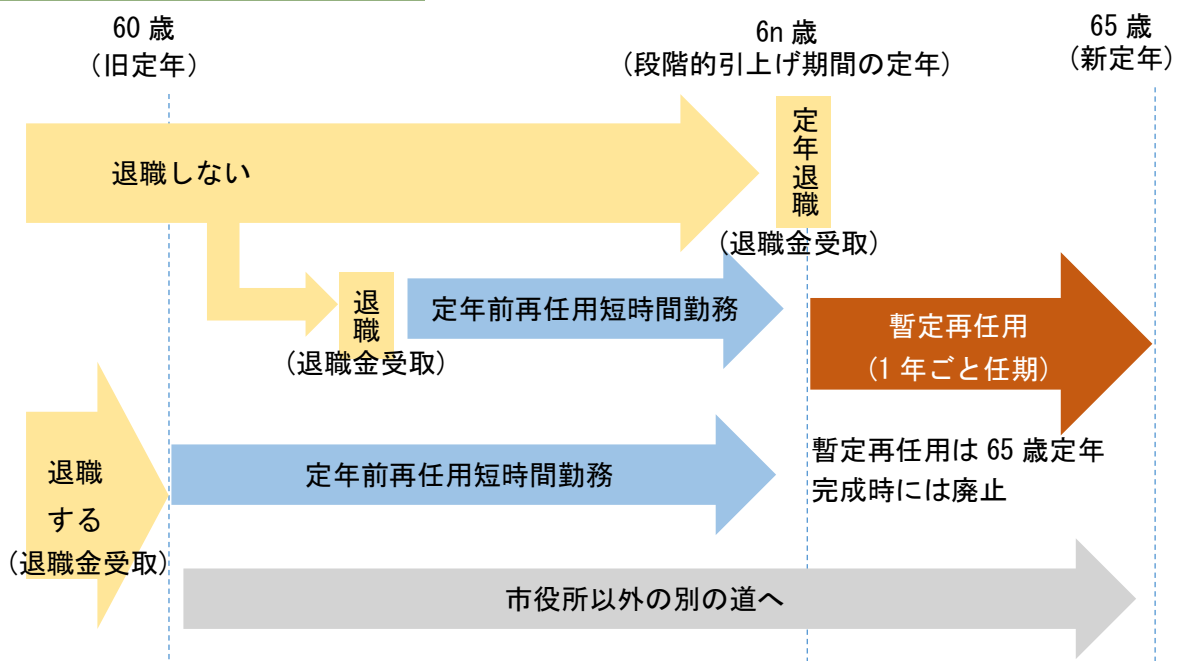
(4) 定年前再任用短時間勤務及び暫定再任用

- ・旧定年後、新定年より前に退職した職員について、再任用短時間勤務制の導入
- ・現行の定年退職者の再任用制度は廃止（定年の段階的な引上げ期間中は、定年から 65 歳までの間の経過措置として暫定再任用制度となる）

(5) 情報提供・意思確認制度

60 歳以降の働き方について、制度の情報提供及び意思を確認する制度

60 歳以降の勤務選択フロー



段階的引き上げ期間中の定年年度と対象職員

| 定年年齢 | 60歳 | 61歳 | | 62歳 | | 63歳 | | 64歳 | | 65歳 | | |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 | 令和13年度 | 令和14年度 | |
| 職員の生年 | | | | | | | | | | | | |
| 昭和37年度 1962.4.2生～ 1963.4.1生 | 60歳 | | | | | | | | | | | |
| 昭和38年度 1963.4.2生～ 1964.4.1生 | 59歳 | 60歳 | 61歳 | | | | | | | | | |
| 昭和39年度 1964.4.2生～ 1965.4.1生 | 58歳 | 59歳 | 60歳 | 61歳 | 62歳 | | | | | | | |
| 昭和40年度 1965.4.2生～ 1966.4.1生 | 57歳 | 58歳 | 59歳 | 60歳 | 61歳 | 62歳 | 63歳 | | | | | |
| 昭和41年度 1966.4.2生～ 1967.4.1生 | 56歳 | 57歳 | 58歳 | 59歳 | 60歳 | 61歳 | 62歳 | 63歳 | 64歳 | | | |
| 昭和42年度 1967.4.2生～ 1968.4.1生 | 55歳 | 56歳 | 57歳 | 58歳 | 59歳 | 60歳 | 61歳 | 62歳 | 63歳 | 64歳 | 65歳 | |